

御室小学校 沿革の概要

- 創立以前 京綴れ発祥の地 野々村仁清と弟子尾形光琳の弟、乾山所謂京焼きを仁和寺門前で作る。吉田兼好雙ヶ岡に庵を結び「徒然草」を著す（現 長泉寺）
寺子屋が中心（そのころの寺子屋は、仁和寺蓮華寺東側と妙心寺南門東側にあった）
- 明治 5年 開校 京都府第三大区第七中学校区葛野郡第十五小学校
橋本隆長宅購入（児童数30名）
6年 校舎狭く洋式指導に不適なため移転 「御室小学校」と称す
所在地：皆明寺（蓮花寺不動本堂の辺り）の全堂宇の寄贈を仁和寺より受けた。
24年 「御室尋常小学校」に改称
31年 現在地西側半分に新築移転（御室堅町20）
43年 「御室尋常高等小学校」に改称（高等科併設）
- 大正 12年 校舎大增築 現在の運動場に拡張（児童数615名）
- 昭和 3年 校舎大增築 運動場南側拡張
16年 「京都市立御室国民学校」に改称
6年 「京都市立尋常御室小学校」に改称 教材園設置
9年 当時北校舎桜木根元より倒れ、ほとんどの校舎の屋根瓦飛ぶ。毎年のように校舎増築
22年 「京都市立御室小学校」に改称
23年 御室小学校育友会結成
24年 京都市立双ヶ丘中学校創設
26年 現在の校歌制定
33年 花園校分校独立（児童数2, 751名のため）
鉄筋校舎へ大改造（34～43年）
38年 プール建設
45年 御室小学校筋ジストロフィー症児学級を国立療養所宇多野病院内に開設
48年 宇多野校分離独立（児童数1, 728名のため）
50年 御室保育所・児童館設置
54年 夜間照明設備整備 木造講堂取り壊し現在の管理棟へ
58年 御室小学校 PTA に改称
61年 清心館老朽化により撤去 そこに講堂兼体育館建設
- 平成 6年 校区の仁和寺・龍安寺、世界遺産として登録される
新プール竣工 コンピュータ室にコンピュータ21台設置
11年 北校舎トイレ改修 ふれあいサロン開設中校舎の大規模改修並びに耐震補強工事開始
15年 二期制導入
17年 北校舎・本館 耐震工事完了 KES 学校版「環境にやさしい学校」認定
18年 校内 LAN 運用開始
普通教室冷房化工事完了
19年 1月 学校運営協議会設立
3月 正門改修
10月 放課後まなび教室開設
20年 6月 地域環境保全功績表彰（環境省）
20年 5月 5年生長期宿泊自然体験学習（花背山の家・京北山国の家 4泊5日）
22年 3月 5・6年教室に電子黒板機能付きデジタルテレビ、普通教室にデジタルテレビ（50インチ）設置
26年 7月 環境配慮型校舎長寿命化工事（27年3月まで）
28年 文部科学省委託事業 平成28年度「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究指定を受ける。
29年 研究教科を算数科とする。
英語活動の時間を3・4年で16時間、5・6年で50時間とする。
30年 台風・大雨・地震による臨時休業（各1日）
授業時の正門・東門を閉門
「働き方改革」に向け、校務支援員配置。電話対応19時終了。
木曜日は全て6時間授業（高学年）とする。
英語活動の時間を3・4年で30時間、5年55時間、6年60時間実施。
31年 研究教科を道德とする。研究発表会を行う。
- （令和 元年）



校章について

江戸時代から名高い「御室の桜」
御室校の校名にふさわしいものとして
「御」を中心に桜で囲んだものです。

御室小学校

校歌

迫田 周五 作詞
高橋 半 作曲

一
双ヶ丘の 若草は
光を求め

根を張って

強く正しく

すくすくと

ひとり伸び行く

嬉しさよ

二
御室の里の

小鳥たち

仲良く

空を飛びまわり

文の林に

今日もまた

明日の夢見る

楽しさよ

御室校区 周辺地図

